

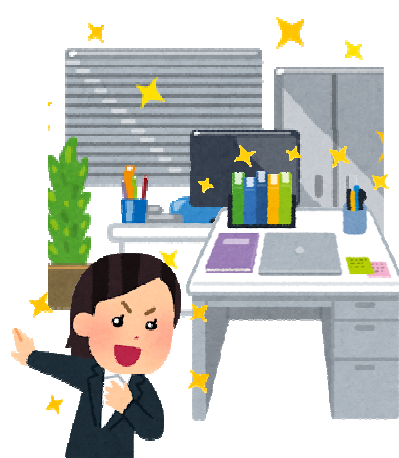


「しごとの仕方改革」 ワンポイントコラム

平成29年10月16日
Vo1.3

今年からスタートした「しごとの仕方改革」について理解を深め、より良い改善をしていくためのポイントや事例などを紹介していきます。

この号のテーマは、「5Sのポイント～清掃・清潔・しつけ～」です。



5Sは全ての改善活動の土台
5Sのポイントとは！

5 S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）は、業務効率を向上させることができる取り組みです。

全ての改善活動の土台である5Sのうち、前回のコラムでは、整理と整頓に注目して、ポイントを整理してみました。実は、不要なものを捨て、置き方や置き場所を決める等、「整理・整頓」を実施するだけでも、ムダはなくなり、大きく効率は向上することがあります。

しかし、5Sのうち、「清掃・清潔・しつけ」をしっかりと実施していかないと、これまで整理、整頓で積み上げて効率化した業務も、あっという間に、ムダの多い元の状態に戻ってしまうでしょう。

今回も前回に引き続き、架空の職場を例に挙げながら、5Sのうち、「清掃・清潔・しつけ」にフォーカスして、これらの重要性について考えていきましょう。

～～これは、5Sが浸透していない職場での一幕～～

【①掃除を徹底できないC君】

A課長「この前の会議資料がほし・・・」

C「はい！どうぞ課長」

A課長「おっ！前とは見違えるように、書類を見つけるのが早いな！」

C「5Sでロッカーを整理しましたから！おかげでスペースもでき
たし！ぜひ5Sの申し子と呼んでください！」

A課長「おっ・・・おう」

C「なんか俺の席、ゴミ箱から遠いし、ゴミ捨てに行くの面倒だな～。そうだ！ロッカーに余分なスペースがあるし、目にもつかないし、一時的になら・・・いっか！捨てちゃえ」

～～～一ヵ月後～～～

A課長「この前の会議資料がほしいんだが」

C「えーっつと、えっつとですね、たしかここにあるはずなんだけど・・・」

B係長「ん？ロッカーの簿冊の前にカップラーメンのゴミが山積みになってる気が・・・目の錯覚だよな」



【②「清潔」を重要視していない職場】

A課長「うちの職場が汚いから、今日は徹底的に5Sの整理・整頓を実施するぞ！」

C「了解です！俺の本気、見せつけてやります！！」

～～～2時間後～～～

B係長「いや～、きれいになりましたね～。今日はめっちゃ仕事したって感じで達成感がすごいです。それにしてもC、本気出しますなんていったのに・・・」

A課長「ははは・・・悩んでばかりでなんにも捨てられなかったな」

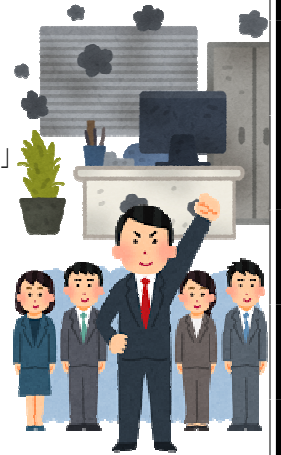
C「いや、もういいじゃないですか、結果的にきれいになったんだし・・・」

～～～1ヵ月後～～～

A課長「さあ、また職場が汚れてきたな！そろそろ5Sを実施するか！！

今日は徹底的に整理・整頓を実施するぞ！」

C「了解です！俺の本気・・・？（あれ、これってデジャブ？））」



知っておきたい「5Sのポイント ～清掃・清潔・しつけ～」

皆

さん、今回の職場での一幕、どうだったでしょうか。

大げさではあるものの、今回の職場のように、5Sを実施する上で大切なポイントをしっかりと押さえないと、どの職場でも、すぐ散らかった状態に戻ってしまうでしょう。

さて、せっかく改善の取組みを進めていたのに元に戻ってしまうということは、整理・整頓にかけた時間も、そして今後整理・整頓に割く時間もムダとなってしまうことになります。では、なぜ5Sがうまくいかなかったのか、少し振り返ってみましょう。

【①の失敗の原因】

まず①のような失敗の原因は、日々のちょっとした「清掃」を怠ったことです。きちんと整理・整頓されたとしても、毎日の仕事の中で、ゴミが出たり、汚れがついたりします。これらを放置したままにしておくと、誰だってキレイにしようという意識がどんどん低下していくもので、一旦汚れてくるとさらに汚れていく、誰かが汚してしまうとみんなも汚し始める、というのはよくあることです。

では、清掃のポイントとはなにか？それは、日々こまめにすること、そして普段目に付きにくいところほどを徹底することです。「これくらいならいいや」など、小さなほころびの芽を摘み取っておくことが大切です。

【②の失敗の原因】

つぎに②のような失敗の原因は、これまで5Sで続けてきた「整理・整頓・清掃」の状態を、維持できなかった、つまり5Sという「清潔」ができていなかったことです。「清潔」とは「整理・整頓・清掃を維持し、誰が見てもきれいでわかりやすい状態に保ち、きれいな状態を保とうという気持ちにさせること」を意味しています。

「清潔」を推進していくためには、整理・整頓した状態を維持するため、もしくは元に戻らないようにするためのルールづくりをしておくことが大切です。

例えば、あらかじめ職場の写真を撮って、終業5分前は写真と見比べて乱れているところはないかチェックする時間にします等です。ただし、ルールを設けた際は、そもそも維持することが難しいルールとなっていないか、現実的なルールかをよく検討し、問題があればルールを見直すことも大切です。

【5Sを継続していく上で大切なこと】

①と②で共通して出来ていなかったこと、それは「しつけ」です。しつけとは「職場のルールや規律を守り、習慣づけること」であり、5Sを継続していくためには、決めたルールは必ず守ること、そして職場の皆に目的をよく理解させることが大切なポイントです。①と②では、この「しつけ」を行う立場の者が不在であったため、うまく継続させることができませんでした。

皆さんの職場で、しつけを行う役割の方ははっきりしているでしょうか。職場リーダーに任せっきりになっていませんか。各職場の担当長や管理職も職場リーダーと協力しながら、時には厳しい目で、しつけを行うことが5Sを継続していく上で大切になってきます。ぜひ、5Sの各ポイントを踏まえながら、各職場で実践してみてください。

しごとの仕方改革についてのご質問は、人事課 人事・行革担当(内線 1322)までお問い合わせください。